

検討・確認事項等の整理

No.	検討・確認事項	状 況	改善・要望事項
1	地域医療提供体制を現状より悪化させることがないか	<p>【地域偏在】</p> <p>○現行の後期研修との比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○→× 山武・長生・夷隅（麻醉科） ・×→○ 山武・長生・夷隅（皮膚科・産婦人科・救急・形成） 印旛（臨床検査） 君津（泌尿器） <p>【募集規模】</p> <p>○県内後期研修医等の状況との比較 すべての領域において、募集定員が、県内の専攻医と同程度の経験年数の医師数（資料1-2参考実績数）を上回っている。</p> <p>○近県との比較 プログラム数・定員数ともに、茨城県・埼玉県を上回っている</p> <p>○初期臨床研修医の募集定員との比較 専門研修の募集定員の方が多い （平成30年度研修開始の募集定員：初期464人、専門641人）</p>	<p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○専攻医と連携病院の負担軽減のため、ローテーションの期間を年単位とするよう要望 ○ローテーションの際に、都市部に集中することなく、地方にも不足なく専攻医を配置するよう要望 ○連携施設数の拡充を要望 ○郡部の病院に医師が配置されるようプログラムの改善を要望 ○制度の運用に際して、地域医療を支える医療現場の意見を十分に吸い上げるなど、医師の偏在などの不安が生じないような配置を要望 ○総合病院、大規模病院への集中を懸念 ○連携施設での専攻医採用が、実効性を持つことを期待
2	従来の学会認定制度において専門医を養成していた医療機関が、専攻医の受け入れを希望する場合は、連携施設になっているか	<p>船橋北病院から精神科プログラムへの参加希望あり</p> <p>○後期研修医の受け入れ実績あり</p>	<p>【改善事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○船橋北病院が精神科プログラムの連携施設となれるよう調整してほしい
3	内科、小児科、精神科、外科、整形外科、産婦人科、麻醉科及び救急科については、都道府県ごとに複数の基幹施設がおかれているか	すべての領域において、複数の基幹施設がある	なし
4	その他		<p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○連携施設と特別連携施設を区別した情報の提供を要望 ○大学に入局と専攻医採用を結び付けた勧誘を控えるよう要望

【今後の流れ】

①改善が必要な事項や要望について機構に提出（9/19まで）

※部会開催後にプログラム情報の追加・変更があった場合は、部会長の判断により、大きく状況が変わる場合は医療対策部会で審議（書面審議）

大きな状況変化がない場合は、各部会員に情報提供

②都道府県は機構と連携して改善事項を調整

③状況が改善しない等の場合は厚生労働省に報告（想定：9月中）